

具体的対策

1) 有害性の少ないFA製品への変更

現在のところ、有害性、コスト面から満足のいく有効な代替品はない。
ホルマリン濃度の選択としては、20%ホルマリンより10%ホルマリンのほうがFAの含有量が少なく、曝露量も少ない。
病理診断・検査に支障がなければ濃度の変更も検討すべき項目。

2) 作業方法の改良による発散防止

a. 使用する容器など

- ・必要最低限量のFAと蓋付容器の使用。
- ・拭き取り作業でホルマリン液が染み込んだ布は、ビニール袋に入れるなどして一度密閉した後に蓋付容器へ捨てる。

b. 作業を行う場所

- ・効果的に換気のできる場所（風通し、窓、風上など）。
- ・局所換気装置又はプッシュプル型換気装置の設置。
- ・エアコンの風の向きを調整。

